

## トランストロンの通信型デジタルサービス

# 「無駄ない走り」評価基準に

富士通グループのトランストロンの加藤祐三社長、横浜市港北区)は、ネットワーク型デジタルタコグラフ「DTSC1」シリーズ専用のクラウドサービス「ITP Web Service」のオプション機能として、新基準の運転評価サービスなどを追加し、利用促進を図っている。併せて、全国ランキング機能も運用開始。ドライバーの運転技術向上とともに、燃費改善や事故防止にもつなげていく。

追加したのは「エコアンドセイフティ 運転評価 オプションサービス」と「エコアンドセイフティ 全国運転ランキング オプションサービス」。10月24

日から販売を開始した。

運転評価サービスでは、実際の速度グラフを元に理想速度グラフを作成。両者の差異を「E&S指数」と

して数値化し分析する。従来は設定値に基づく減点方式だったが、新機能では、いかに無駄の無い走行であるかを基準に評価。ドライバーに速度変化の少ない滑らかな運転を促す。

全国運転ランキングサービスでは、全国ユーザーのE&S指数を集計し、ラン

キングを公開。結果を他社と比較・競争することで、ドライバーの運転技術向上を図る。管理者にとっても、運転特性の可視化がドライバー育成への一助となるほか、燃費向上による経営改善、荷主へのアピールなどのメリットがある。

(土屋 太朗)